

# 小型合併処理浄化槽保守点検記録票

設置者用

施設名称	浄化槽のメーカー・型式
建築物用途	処理方式
浄化槽管理者(設置者)	保守点検業者
浄化槽管理者(設置者)ふりがな	会社住所
浄化槽管理者(設置者)住所	担当者
浄化槽管理者(設置者)電話番号	会社電話番号

前回の点検日時	年	月	日	時	8 各単位装置共通	12-1 沈殿槽
点検日時	年	月	日	時	衛生害虫の発生状況	一次・二次 越流せきの水平・固定状況
前回の清掃日	年	月	日		臭気の発生状況	一次・二次 スカムの蓄積状況
処理対象人員	人	槽			槽内水のオーバーフロー	一次・二次 汚泥の蓄積状況
1 使用の状況					水位上昇の痕跡	一次・二次 12-2 処理水槽
人員比(BOD負荷)	人員比				短絡水流の形成	一次・二次 スカムの蓄積状況
日平均汚水量	読み値	m <sup>3</sup>			内部設備の変形・破損	一次・二次 汚泥の蓄積状況
(水道メータ等から:m <sup>3</sup> /日)	計算結果	m <sup>3</sup> /日			隔壁の漏水	一次・二次 13 消毒槽
流入の状況	→備考				9-1 一次処理装置共通 第1室	スカム・堆積汚泥の蓄積状況
2 躯体・スラブ・マンホール					スカムの蓄積状況	cm 消毒剤の状況(膨潤・閉塞等)
マンホール等の破損状況					汚泥の蓄積状況	cm 消毒剤の接触・調整状況
スラブの変形・破損等					移流口等の状況	調整 消毒剤の消費状況・補充量
躯体の変形・破損					9-2 一次処理装置共通第2室以降	14-1 水質
荷重の状況					スカムの蓄積状況	cm 好気性生物反応槽内DO(mg/L)
躯体の浮上、沈下の状況					汚泥の蓄積状況	cm 生物反応槽のNOx-N(+・-・mg/L)
漏水の状況					移流口の状況	調整 処理水のpH
躯体の水平の狂い					10 好気性生物反応槽共通	増・減 槽内水温(°C)
マンホールからの雨水・土砂の混入					ばっ気攪拌の状況	→ばっ気量 一次処理流出水透視度
3 管渠					空気配管等(閉塞・破損)	二次処理流出水の外観
管渠の誤接合	→異常部位				微小後生動物の増殖状況	→備考 透視度
管渠の破損	→異常部位				11-1 接触ばっ気槽	放流水残留塩素濃度(mg/L)
管渠からの雨水・地下水・土砂の流入					接触材・移流部の状況	14-2 窒素除去型水質
流入管渠の勾配不良					剥離汚泥の状況	処理水のNOx-N濃度(mg/L)
放流管渠の勾配不良					生物膜の状況	逆洗無洗汚泥移送 処理水のNH4-N濃度(mg/L)
放流管からの逆流					逆洗装置の作動状況	→ 15 流入(中継)ポンプ槽・放流ポンプ槽
管渠におけるスライム等の付着状況	→異常部位				11-2 担体流動槽	自動制御機器の作動状況
4 ブロワ・制御機器	沈殿槽汚泥引抜ポンプの設定				担体の状況(摩耗等)	NO.1ポンプの作動状況
ブロワの作動状況	1回当りの作動時間	分			担体の流動状況	NO.2ポンプの作動状況
制御、安全機器の作動状況	→作動時刻				担体の充填状況	配管及び配線(漏電等)の状況
5 空気配管(埋設管)					11-3 生物ろ過槽	スカムあるいは汚泥の蓄積状況
空気配管の閉塞					担体の状況(摩耗等)	清掃の必要性 予定(月) m <sup>3</sup>
空気配管の破損					ろ過装置流入部の水位	cm 早急に必要( ) m <sup>3</sup>
6 循環装置	調整前	調整後			逆洗装置の設定	回/日 清掃業者への連絡事項
循環装置の作動・調整状況	調整前	調整後	分	分/個		
7 流量調整装置	調整前	調整後			逆洗装置の作動状況	
流量調整装置の作動・調整状況	調整前	調整後	分	分	担体の充填状況	
消耗品、部品の交換						
消耗品及び交換部品の履歴						
所見						

【異常の有無を記入する項目】 0 正常です。1 調整しました。2 部品の交換等の改善を行いました。3 要観察、次回の保守点検まで様子を見ます。4 部品の交換、修理等の改善が必要です。  
 (二次処理流出水の外観) 0 濁り(微粒子)がほとんどない・水に臭気がない 1 濁り(微粒子)がほとんどない・水に臭気がある 2 濁り(微粒子)が少し認められる・水に臭気がない  
 3 濁り(微粒子)が少し認められる・水に臭気がある 4 濁り(微粒子)が認められる・水に臭気がない 5 濁り(微粒子)が認められる・水に臭気がある